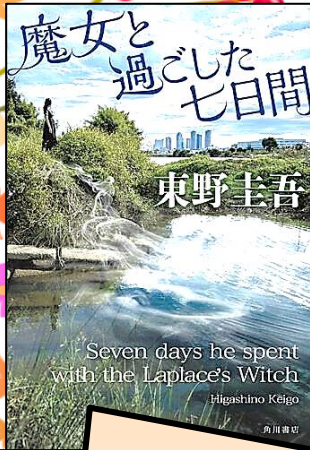




図書館だより

令和5年10月号
近衛中学校 図書館
読書の秋 特集号



すてき 素敵な秋の1冊を さがそう!!

ようやくさわやかな風の季節。Ⅱ期の学習や行事、部活動など、忙しいですが、充実した素敵な季節、秋!

「秋の夜長」夜のスキマ時間に、ワクワク読める本を探してみませんか?

ミステリーや感動本、学習、部活動に役立つ本や、世界の写真やイラスト集など。この時期にしか読めない本を、ぜひ図書館で見つけてください。

「魔女と過ごした七日間」(「ラプラスの魔女」シリーズ)

作者: 東野圭吾 出版社: KADOKAWA

AIによる監視システムが強化された日本。指名手配犯捜しのスペシャリストだった元男性刑事が殺された。「あたしなりに推理する。その気があるなら、ついてきて」不思議な女性・円華に導かれ、父を亡くした少年、陸真の冒険が始まる。



全国読書週間がはじまります♪10/27~11/9



第2次大戦終戦2年後の1947(昭和22)年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、

「**読書**の力によって、**平和**な**文化国家**を創ろう」と、出版社・書店、図書館、新聞や放送のマスコミも一緒になって、第1回「**読書週間**」が行われました。それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民の国」となりました。考える力のもととなる読書。中高時代にしっかり読んでおきたいですね。

今年の標語は

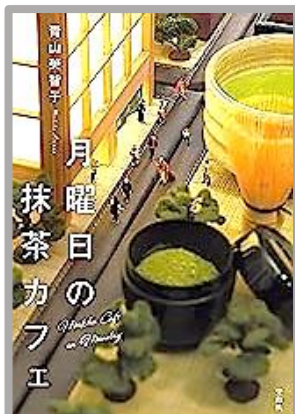
「私のペースで しおりは進む」

ひとの読書ではなく、私の読書。くらべることはありません。自分のペースで本の世界を楽しんでみませんか? 77回めの、この「読書週間」が、皆さん一人一人に、読書のすばらしさを知ってもらおうきっかけとなることを願っています。



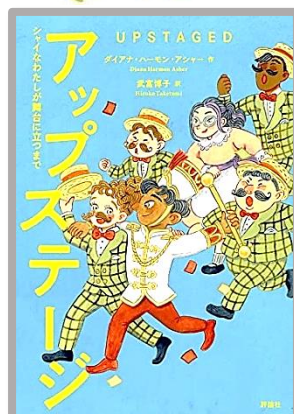


さわやかな秋のオススメ本！



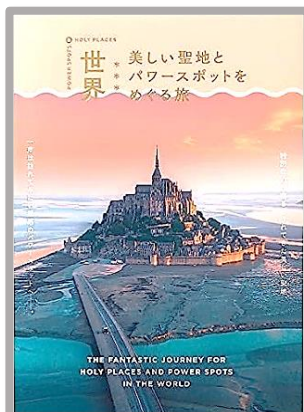
月曜日の抹茶カフェ

川沿いの桜並木のそばの喫茶店「マーブル・カフェ」。定休日の月曜 1 度だけ「抹茶カフェ」を開くことに。ツイていない店員、妻を怒らせた夫、恋人と別れた歌手…。様々な人々が訪れ、誰かの背中を押していることに気づく。東京と京都をつなぐ 12 ヶ月の物語。



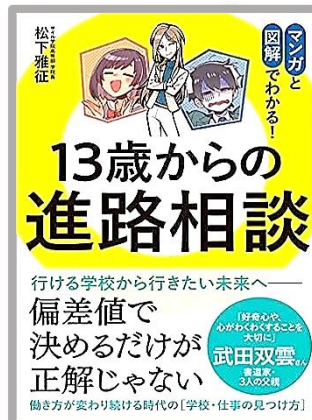
アップステージ

シャイな中学生女子・シーラがミュージカルの舞台に立つまでの物語。家族や親友の助言を味方に、仲間との衝突、淡い恋なども経験します。さてさて、どんな舞台となるのでしょうか？！
(R5年中学課題図書)



美しい聖地とパワースポットをめぐる旅

世界には、特別な力が宿る聖地、古くからの巡礼地、一度は訪れてみたい魅惑のパワースポットが数多くあります。美しい写真とともに、その地の歴史、伝説や神話を読みながら、パワースポットをめぐる一冊です。



不可能を可能にする大谷翔平 120の思考

なぜ、大谷翔平は『不可能』を『可能』となしえたのか？その鍵は、大谷が培ってきた彼の一流の思考にあります。甲子園出場時からプロ野球時代の彼の印象的な言葉から書かれています。貫く信念がスゴイ!!!!



進路・お仕事の本で新しく入った本！

図書館カウンターのすぐ左側には、お仕事の本が多くなっています。興味のある仕事の世界をぜひ、のぞいてみてください。



その他、学習や、部活動関係に役立つ新しい本も入っています！夏休み前に借りられなかった本も戻ってきました。ぜひ、図書館をのぞいてください。

🐱 前期委員会の皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。



せんぽつ 前期貸出 選抜15作品!!

4月～9月で、貸出が比較的多かった本を15作品紹介します。
ぜひ、参考にしてみてください！（並び順は順位ではありません。）



「バナナの魅力を 100
文字でつたえてくださ
い」（柿内 尚文）



「5分後」「悩み部」
シリーズ
（学研、河出書房新社）



「JK、インドで常識ぶっ
壊される」
（熊谷 はるか）



「変な家」第1弾
「変な絵」第2弾
（雨穴）



「ぼくはイエローでホ
ワイトで、ちょっとブ
ルー2」
（プレイディみかこ）



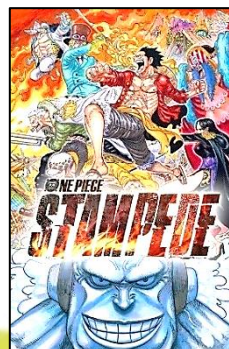
「ソードアートオンラ
イン1」
（川原 礫）



「汝、星のごとく」
（風良 ゆう）
2023 本屋大賞作品



「ちょっとだけこっ
そり素早く『言い返
す』技術」
（ゆうきゆう）



劇場版「ワンピース・
スタンピード」（小説）
（尾田栄一郎/原作
浜崎達也他/文）



「今夜、世界からこの
恋がきえても」
(一条 岬)



「ドラえもん探究ワールド
知ってる？名前のひみつ」
(藤子・F・不二雄/著,
深谷圭助/監修)



「ハニーレモンソーダ」
(村田真優/原作
はのまきみ/文)



「余命一年と宣告された
僕が、余命半年の君と出
会った話」(森田 碧)



「チョコレート革命」
〈短歌集〉(俵 万智)



「今夜、きみの声が
聴こえる」
(いぬじゅん)

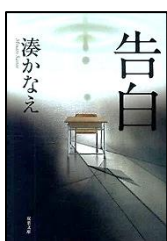


今、よく読まれている 作家は、だれ？ part 1

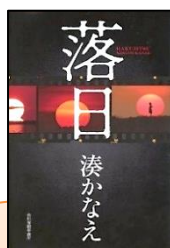


星 新一 さん

400字原稿用紙にして10
数枚程度の短い、SF 空想
小説を得意としています。
明るくユーモアある作風
は、広い読者層に支持さ
れ、「ショートショート的神
様」と呼ばれています。



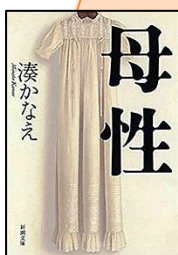
湊 かなえ さん



東野 圭吾 さん



そんなに難しい単語を
使っていないのに、どん
どんと、人間や社会の
裏の真実に、読者は引
き込まれます。読みや
すく、文章の組み立て
が凄く上手。謎を解く
主人公が熱いです！



登場人物の巧みな心理
描写やさまざまな伏線が
あり、エツという大胆な
展開があるのがポイント。
ホッとしたかと思いき
や最後に恐ろしい結末
を迎えるなど、読者の気
持を揺さぶります！

推し
し
か
勝たん！

あなただけの「推し本」！
「推し作家」！をさがしてね！